



役場長なし会主催 ～盆踊り～
 「アンパンマン音頭のリズムに合わせて楽しく踊り、子供向けゲームを楽しむ子供たち!!」



議 会



第2回定例会	● 議案審議 平成21年度利尻富士町一般会計補正予算 など 2～4
	● 行政報告 国の補正予算についてなど 4
	● 一般質問 養殖施設下のナマコ資源活用についてなど 5～7
	● 委員会レポート 総合体育館況調査など 7
臨時会 第2回	● 議案審議 専決処分（平成20年度利尻富士町一般会計 補正予算(第8号)）の承認を求めること についてなど 8

第2回定例会

●会 期 6月26日

●出席議員 9名

平成21年第2回定例町議会が6月26日招集されました。

一般質問に2名の議員が登壇し、町民要望実現のため議論を交わしました。その後、提案された議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

専決処分

▽利尻富士町税賦課徴収条例の一部改正の承認を求めることについて

〔改正内容〕

・個人住民税において、公的年金所得以外の所得に係る所得割額の公的年金からの特別徴収の廃止及び住宅ローン特別控除の継続。
・固定資産税において、土地に係る負担調整措置の継続。
(平成21年3月31日施行)

▽利尻富士町国民健康保険税条例の一部改正の承認を求めることについて

〔改正内容〕

・地方税法の改正に伴う条項及び附則の一部改正。
(平成21年3月31日施行)

補正予算

▽平成21年度利尻富士町一般会計補正予算(第1号)

〔補正内容〕

・補正額12億6千992万7千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ50億6千92万7千円とする。

■平成21年度利尻富士町一般会計補正予算(第1号)

主な歳入		(単位:千円)
国庫支出金	学校情報通信技術環境整備事業補助金	28,194
	地域活性化・経済危機対策臨時交付金	162,844
	地域情報通信基盤整備推進交付金	313,333
	地域活性化・公共投資臨時交付金	564,000
	石油製品販売業構造改善対策事業補助金	7,674
道支出金	妊産婦健康診査支援事業補助金	1,040
	緊急雇用創出推進事業補助金	1,728
	利尻富士利尻線(改築)工事用地取得業務委託金	△362,740
	利尻富士利尻線(雪)工事用地取得業務委託金	453,720
繰越金	前年度繰越金	2,216
町債	地域情報通信基盤整備事業債	62,600
	鴛泊地区町道改修事業債	32,900

主な歳出		(単位:千円)
総務費	地域情報通信基盤整備事業	940,000
	経済危機対策費	196,000
衛生費	妊産婦健診手数料	1,918
農林水産業費	漁業後継者報償費	1,113
商工費	石油製品流通合理化支援事業	7,674
	観光ガイド配置業務委託料	1,728
	温泉事業特別会計繰出金	△2,749
	土木総務費人件費	△9,199
土木費	鴛泊市街1号線舗装工事	33,000
	街づくり対策費	96,249

〔質疑内容〕

渡邊議員 鴛泊市街地道路拡幅整備の中で、景観の障害となる電柱や電線の地中化について関係機関への働きかけの進行状況について伺います。

町長 道路整備計画年度は8年間で、物件の移転が完了後に一部を除き道路事業に着手する予定ですので、移転補償・用地購入に力を注ぎたい。地中化については、景観上必要性は認識していますので北電だけでなくNTTとの関係や、冬期間における対応もあり、地中化を図るために前向きに取り組んでいると

いうことご理解願います。

再質問 今後このような大きな事業はないと判断しています。後々になって悔いの残らない街づくりをしたいという考えから、早く準備しなければ大変かなという思いもあり、景観に障害となる部分をできるだけ取り除いて街づくりを進めて頂きたい。

町長 地中化については、この機会を逃したらという気持ちがあります。地中化の事業手法には完全地中化、地中化のソフト化や住宅や店の後ろに電柱等を残し景観を保つ工法等がありますので、ソフト化が良いのか完

全地中化が良いのか、新しく店を構える人達、町の人達、街づくり協議会と相談の機会をもちながら取り組んでいきたい。

藤井議員 追加補正事業と交付金との関係について説明願います。

町長 交付金で利尻富士町に係る部分は全額を予算計上しました。経済危機対策・情報通信基盤整備・地域活性化公共投資分として、市町村の事業に任せるということで事業を明示して議決頂くことになります。

再質問 石油製品流通合理化支援事業について説明願います。

産業建設課長 灯油備蓄タンクが35年を経過していますので、その必要性について利尻町と協議会を設置し検討したい。その協議会への業務委託料として計上しています。業務委託内容は、離島における価格の安定化、備蓄タンクに関する事、流通に関する事等の色々な調査・検討を行うことになっております。

俵谷議員 ドクターヘリの運航に関わり、施設整備費の他に将来的に運営管理費の経営負担を求められることはないか。

町長 ヘリコプター格納庫の施設負担は、北海道と市町村が負

担し、利尻富士町は13万3千円ということ。事業主体は旭川日赤病院です。運営に係る経費・責任は日赤病院になりますので格納庫の負担であると理解願います。

俵谷議員 計画されている防災拠点施設（鬼脇支所）の避難口について説明願います。

町長 最終的な設計に入っていますので、防災上や人の動きからの避難口について確認・検討します。

戸嶋議員 地域振興と廃校の再利用と雇用の創出ということから、名水フアクトリー事業がスタートしましたが、事業経営の近況について伺います。

町長 旧雄志内小学校の利用の関係かと思いますが、事業経営に関する正式な話はありません。

伊藤議員 ドクターヘリの運航と、北海道警察のヘリの運航と2ルート使えると判断してよろしいか。

町長 ドクターヘリの運航は旭川日赤病院であり、ヘリの必要性の判断は消防（救急）が行いますし、現在の救急業務ヘリは、医師が判断し地方公共団体の長に要請し、長から北海道（警察）

■平成21年度各特別会計補正予算

●下水道事業特別会計（補正第1号）

主な歳入歳出		(単位：千円)
歳入	一般会計繰入金	3,900
歳出	浄化センター下水道維持補修費	3,900

●温泉事業特別会計（補正第1号）

主な歳入歳出		(単位：千円)
歳入	一般会計繰入金	△ 2,749
歳出	人件費	△ 7,765
	管理委託料	5,016

●介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

主な歳入歳出		(単位：千円)
歳入	前年度繰越金	5,343
歳出	国庫支出金返還金	4,852

●国民健康保険施設特別会計（補正第1号）

主な歳入歳出		(単位：千円)
歳入	一般会計繰入金	4,200
歳出	診療所改修工事	4,200

に運航要請することから2ルート使えるということになります。

▽平成21年度利尻富士町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

〔補正内容〕
・補正額390万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ2億2千58万4千円とする。

▽平成21年度利尻富士町温泉事業特別会計補正予算（第1号）

〔補正内容〕
・補正額274万9千円を減額し、歳入歳出の総額をそれぞれ6千486万2千円とする。

〔質疑内容〕
藤井議員 温泉保養施設管理業務委託の契約方法について伺います。

産業建設課長 温泉保養施設管理業務は数年前から委託契約という形をとっています。

再質問 随意契約により委託しているかと判断しますが、契約の方式を競争入札による業務の委託を考えているか伺います。

町長 町内で、免許を取りある程度の経験を積んだ業者がいれば、町としてこれから発注するものは入札の仕方を考えなければならぬと思っています。

▽平成21年度利尻富士町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

〔補正内容〕
・補正額632万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ2億9千308万9千円とする。

▽平成21年度利尻富士町国民健康保険施設特別会計補正予算

〔第1号〕
〔補正内容〕
・補正額420万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ7千843万3千円とする。

〔質疑内容〕
伊藤議員 診療所改修工事請負費について伺います。

副町長 国の経済危機緊急対策交付金を使用して、暖房用ボイラーの取り替えを行います。

条例改正

▽利尻富士町国民健康保険条例の一部改正について

〔改正内容〕
・平成21年10月から平成23年3月までの経過措置として、出産育児一時金を35万円から39万円に改正する。
(平成21年6月29日施行)

〔質疑内容〕

伊藤議員 出産一時金を35万円から39万円に改正するところですが、政府では42万円の額が示されていると認識していますが経緯を説明願います。

福祉課長 健康保険法の改正により、35万円から39万円に改正し、町の条例で定めることにな

ります。改正後は3万円を上限として加算することになりますので、実際は42万円支給となります。

▽利尻富士町国民健康保険条例の一部改正について

〔改正内容〕
・介護納付金課税額の限度額を9万円から10万円に改正する。
・被保険者均等割額を2万5千円から2万4千円に改正する。
・世帯別平等割額の特定世帯以外の世帯を2万4千円から2万3千円に、特定世帯を1万2千円から1万1千500円に改正する。

・普通徴収による国保税の第1期の納期を7月1日から同月31日に改正する。
(平成21年6月29日施行)

〔質疑内容〕

川村議員 漁業所時が伸びていない・少子高齢化により所得の伸びも期待できない現象の中で、応能割・応益割が50%・50%に不公平感がないのかどうか。

町長 不公平感というのはなかなか判断しづらいが、減免措置を考えれば50%・50%の比率を守りたい。利尻富士町は税額を決定する段階で計算すると応能53%・応益47%となっています

が、応能50%・応益50%を基本に賦課せざるを得ないと思っております。

俵谷議員 国保税税率改正による減税措置と、介護納付金課税額値上げ分の関連性について説明願います。

町長 町が減税できる部分と法律に定められている部分があり、介護納付金課税額の限度額は法律の改正に基づいて改正するものです。

▽利尻富士町介護保険条例の一部改正について

〔改正内容〕

・普通徴収に係る保険料の納期のうち、第1期を7月1日から同月31日までに改正する。

(平成21年6月29日施行)

▽鴛泊・鬼脇辺地に係る総合整備計画の変更について

〔変更内容〕

・辺地に係る公共的施設の総合整備計画のための財政上の特別措置に関する法律に基づき、施設整備計画の事業費及び財源内容を変更する。

行政報告

第2回定例会において、町長より「利尻空港の利用状況について」ほか4件について行政報告がありました。



◎利尻空港の利用状況について
3月は、往復で989人、搭乗率は13・1%。4月は往復で1千27人、搭乗率は14・4%。

5月は往復で2千276人、搭乗率は32・3%。20年度の往復合計では2万9千772人、搭乗率35・5%となり昨年度比では2千391人の増で、搭乗率は2・8%の増となっております。

◎平成20年度一般会計及び特別会計決算見込み額について

一般会計では2千391万1千円の黒字。特別会計(11本)の合計では4千484万9千円の黒字となっており、一般会計と特別会計の合計では6千876万1千円の黒字決算となる見込みです。

◎利尻島振興公社の決算について

6月16日に株主総会と取締役会を開催し20年度決算が承認されました。決算内容は、営業収入が9千978万3千円、営業費用が9千142万6千円で当期利益金として562万円となり、前期繰越金の325万3千円と合計すると887万3千円の残高になりますので、利益準備金として200万円、別途積

立金として400万円を積み立てし、287万3千円が翌年度への繰越金となります。

◎国の補正予算関係について
国では20年度、21年度の2カ年にわたり補正予算と新年度予算によって景気雇用・地域の活性化等のために対策を講じてきました。利尻富士町分としては、20年度1次補正で地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金として1千325万4千円。2次補正で地域活性化・生活対策臨時交付金1億1千529万7千円。定額給付金事業5千536万8千円、子育て応援特別手当交付金173万4千円、20年度合計では1億8千565万3千円となります。21年度補正では地域活性化・経済危機対策臨時交付金1億6千284万4千円、このほか地域活性化・公共投資臨時交付金が国の補正予算に計上されてその内容が示される予定であります。また、鴛泊と鬼脇港区の船揚場整備事業、防護岸改良事業について事業費7億2千300万円が予算付けがなされました。ブロードバンド整備事業では、幹線・支線光ファイバー49km、局内伝送装置ボックス改修、防災関連事業対応の引込光ファイバー・全世帯

へのサーバー告知端末などを整備することから9億4千万円を補正予算計上していますが、国の地域情報通信基盤整備推進交付金や公共投資臨時交付金を活用することから町の負担はほとんどないものに等しく、町内全域に高速通信ネットワークが引かれることから防災と情報提供など住民サービス向上に寄与できるものと考えております。

◎道北ドクターヘリの運航について

道北56市町村のエリアをドクターヘリ(救急用医療ヘリコプター)が10月1日から運航開始予定です。これは、旭川赤十字病院が事業主体となつて対応し、運航圏域は旭川から半径200kmを超える利尻礼文の離島も含めてエリアにすることから道北の全地域をカバーすることになっていきますので、救命率の向上や後遺症の軽減、へき地における救急医療体制の強化、災害時の医療救護活動の充実に繋がるものと思っております。

質問 ナマコ資源の付加価値が高まり漁業生産として個人所得の増加に繋がっていることは誠に喜ばしい限りであります。しかし、資源は有限であり、毎年の生産量に対し資源の自然繁殖が追いつかず、小型化の傾向にあると伺っております。本町の

ナマコ生産量は統計数値から分析すると右肩上がりの取扱いを示しているが、根付漁に限って言えば緩やかではあるが減少の兆しが感じられる状況にある事は周知のことと存じます。こうした背景にあつて漁業者の話をも分析すれば、昆布養殖施設並びにホタテ養殖施設の下に自然繁殖のナマコ資源が増えているとのことであり、資源量の調査を実施し未利用資源の有効活用を図るべきと思慮するものであります。最近の新聞では、ナマコの養殖が確立され種苗放流をしている事例が報道されています。

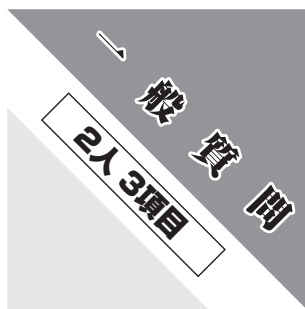
本町においても、先の議会でナマコの養殖事業による資源の増大を図るべきと提言した経緯がありますが、残念ながら生産確立が低いという判断から積極的に取り組む姿勢がないまま養殖技術による資源拡大の道は閉ざされたままです。こうした漁業環境にあつて、ナマコの未利用資源が現存するならば有効利用を図り資源の増大に繋げるべきであり、育てる漁業の環境として早急に施策を講ずる重要な課題であると考えます。漁業調整規則の中にも、産卵期には禁漁期間を設けて繁殖を促している訳で、その禁漁期間に合わせて潜水捕獲事業を実施し移

植放流することにより、効率の高い生産直結型の増殖事業となることは言うまでもなく行政としては英断をもつて取り組むべきであると存じます。また、第1次基幹産業である漁業振興の支援を行うという観点からも、付加価値の高いナマコ資源を新しい増殖事業に位置付けし、率先して取り組む支援体制を構築すべきと考えますが町長の所見を伺います。

マコ養殖技術は未知数であるとの話を聞き、自分なりに考えれば今の時点でのナマコ養殖技術の確立は相当難しいのではと思わざるを得ません。これまでの取り組みにおいては、ナマコ養殖技術は一市町村や一漁業協同組合では技術の確立が難しいことから、北海道として取り組んで頂くよう申し出を行った経緯から、北海道、水産試験場、栽培公社でナマコ養殖技術の確立に取り組んで頂きながら、試験・調査・実践の研究を並行して行っているものと思っております。北海道、水産試験場、栽培公社等による対策会議では、協議しながら必要な対策を講じるとともに、栽培公社ではできるだけ早くナマコ種苗の販売事業を展開できるような技術の確立に努めているところでありますので、本町では栽培公社、水産試験場の指導を受けながら進めていくこととしていますが、養殖技術の確立がされるまでしばらく時間を要することをご理解願います。昆布やホタテの養殖施設の海底に自然繁殖するナマコの移植放流を実施して資源を有効に活用すべきとの質問については、以前から移植できないものかと考えを持っていましたが、昆布やホタテの養殖施設の海底で繁

俵谷議員

養殖施設下のナマコ資源活用について



町長 ナマコ養殖技術の確立についてからお答えします。養殖技術の研究されている大学の先生の話では、相当以前からナマコ養殖技術の研究を進めていたけれども、その技術の確立を見出せないまま中断を余儀なくされた。また、魚類等を含めた養殖技術を研究している大学の研究室からもナマコの研究だけはなかなか進まない状態の中、ナ

マコ養殖技術は未知数であるとの話を聞き、自分なりに考えれば今の時点でのナマコ養殖技術の確立は相当難しいのではと思わざるを得ません。これまでの取り組みにおいては、ナマコ養殖技術は一市町村や一漁業協同組合では技術の確立が難しいことから、北海道として取り組んで頂くよう申し出を行った経緯から、北海道、水産試験場、栽培公社でナマコ養殖技術の確立に取り組んで頂きながら、試験・調査・実践の研究を並行して行っているものと思っております。北海道、水産試験場、栽培公社等による対策会議では、協議しながら必要な対策を講じるとともに、栽培公社ではできるだけ早くナマコ種苗の販売事業を展開できるような技術の確立に努めているところでありますので、本町では栽培公社、水産試験場の指導を受けながら進めていくこととしていますが、養殖技術の確立がされるまでしばらく時間を要することをご理解願います。昆布やホタテの養殖施設

の海底に自然繁殖するナマコの移植放流を実施して資源を有効に活用すべきとの質問については、以前から移植できないものかと考えを持っていましたが、昆布やホタテの養殖施設の海底で繁殖しているナマコは、磯周り漁師の方々の安定した収入源になっていることや磯ナマコの資源管理になっているということであり、専門家の意見を聞いても養殖下のナマコ資源は移植して採りつくしてしまうよりも、自然に任せながら安定的に採捕したらよいのではないかとこの忠告を受けていますので、漁業協同組合には、これらの意見を投げかけながら検討して頂き、漁業者の将来を見据え、資源の安定、生活の安定への良い方向性を保つことに寄与できるものと思っております。

再質問 新聞等色々な情報をもとに論理していますが、稚内試験場のナマコ養殖では自然放流が成されているという報道がされていますので、大量生産まではいつていないが養殖技術の確立に至っているという判断をせざるを得ません。昆布・ホタテの養殖施設下のナマコを自然の姿のまま資源増を図るという判断からは、養殖施設が限られていることから、自然増を手を組んで待つという姿は第1次基幹産業を抱えている我が町とすれば、少し放置したものの考えと受け止めざるを得ません。ウニ等は産卵を促す移植

ではなく生産に直結する移植です。ナマコについては、産卵を促す移植放流ということで、自然界にナマコの種子が定着して成長する過程を促すための移植放流事業として捉え、前向きな取り組み姿勢が漁業者から見えて感じられる取り組みをして頂きたい。

町長 養殖技術の確立については、研究機関等の話を聞く限りでは養殖技術は確立されていないということです。実際に経験された町長の話でも、稚ナマコはできるけども放流までは育っていない、養殖までいくようなものではない。また、親ナマコの産卵の確立は1%か2%であるという、道南の研究機関でもその程度の技術しか確立されていないことから、移植放流して育つか育たないか分からないようにも、自然にいるものが大きくなって、それを採ったほうが永続的な資源管理に繋がるとの話であると思っています。事業者は漁業協同組合ですので、漁業協同組合の考え方を聞きながら相談していきたい。

再々質問 養殖技術が確立されていないという大学や研究機関のコメントであれば、民間レベルでは確立できないと判断せざるを得ませんが、養殖施設下の

資源を事業化する取り組みを漁協の要請を待つというのでは、第1次基幹産業を統括している町としては消極的ではないかと思えます。行政が示す道筋をつけてあげて事業拡大に繋がり、やり方によっては増産に繋がると道筋が見えてくるのではないのかと思えます。町が財政支援を含めて道筋を立ててあげることが行政支援だと解釈しています。新しい事業に取り組むという姿こそが大事なことで、事業として採択する価値があると判断されますが。

町長 養殖というのは、自分たちの手で産卵から成長、親にして出荷販売までの一括したものが養殖技術であるという想いで話を聞いていました。施設整備にしても漁協が判断すべきことと思っておりますが、研究の成果・結果により技術が確立された場合には施設整備を考えなければなりません。将来的には、漁協が泊本所の養殖施設が移転になりますので、その時点で研究部門等の整備を念頭に置きながら漁協への進言とともに協議を進めていきたいと考えています。

藤井議員

観光振興について
沼浦展望台駐車場整備について

質問① 利尻島では6月から観光最盛期に入りましたが、100年に1度と言われる世界同時不況の真つ最中であり、更に新型コロナウイルスのパンデミックと言われる状況にあり観光入り込み数の大幅な減少が予想されています。町では観光協会を側面援助しながら振興を図っているが、ここ数年右肩下がりを止められていないし、再生にはほど遠い状況にあると思われませんか。この状況を考え、町長は何かの打開策を考えているのか伺います。

成15年をピークに年々減少していることは事実であり5年間で30%の減少となっています。管内的・全道的に相当の落ち込みがある中で、他の観光地との比較で減少率だけでは予想された範囲の落ち込みであったと思っておりますが、宿泊客は一昨年比で数百人増加していることは、観光協会や宿泊業組合の努力のおかげと思っております。減少傾向の状況を打破するため観光協会等は数年前から「観光再生元年」と位置付けながら色々な取り組みに努力されており、その結果として、通常の航空便利用の台湾へ千歳へ利尻・礼文コースの実施、千歳へ利尻へ稚内へ利尻へ千歳コースのチャーター便の運航予定等今年の観光に繋がったものと思っております。観光は広域で取り組まなければならないとの意見一致から、宗谷シーニックバイウェイ・宗谷観光連盟との連携、ANA地域再生マネージャーを中心とした北宗谷広域観光推進協議会も立ち上げ諸々の事業展開を行う予定であり、今後も関係機関と連携しながら効果的、かつ効率性の高い事業に積極的に取り組んでまいりたい。

再質問 観光協会なりの努力の結果としてある程度抑えられたという感じは思っています。利尻島の位置は、観光としては非常に難しいポジションにあると考えられます。これを踏まえて、ビューポイントの設置など多くの人に見せる工夫は行政が考えるべきことで、町独自の分析をされて独自の計画を打って出ても良いのではないかと。

町長 観光というのは誰も予想ができないことから、目標を持つて何かを働きかけるといふことは当然であると思います。利尻の観光は自然と食と人の3つを絡めて一体となって観光振興に努力してもらわなければならぬこと、行政だけに言うのではなく、観光に携わる人達が意欲をもち努力しなければ観光振興に繋がらないと思えますし、その中で何が必要なのかその必要性の中で何を行政に求めるのかをも話し合っ頂きたいと思っています。

質問② よく北海道の観光は農業規模といわれ、自然はずばらしいがリピーターが少ないと言われていますが、利尻島も同様であると思っております。美形の利尻富士を島内それぞれの地点で見られますが、沼浦展望台から見た景観は島内でも1・2

拡張整備が必要とされる沼浦キャンプ場駐車場



番ではないかと思いますが、このビュースポットに車で行くには大型バスでは無理で乗用車程度となっており、来島される観光客の大半が、その地点をパスして家路につくのは残念なことであります。リピーターの動機の一つに心に残る印象を与えることが大事であると思っておりますので、より多くの観光客の方々に沼浦展望台からの景観を印象付けるには、団体客の大型バス等の駐車スペースが必要であります。沼浦キャンプ場の駐車場を拡張整備することにより、1人でも多くのリピーターに繋がりが、また、道々での駐車待機問題等交通安全上の課題が解決可能になるものと考えますので、

整備計画についての町長のお考えを伺います。

町長 沼浦展望台は小型・中型は乗り入れ可能なものの、大型バスの乗り入れは規制をしています。これは従前からの道路に若干の拡幅・舗装程度の仕様であり、路盤や路肩の強度不足から危険と判断し大型バスはやむなく禁止としています。展望台までの道路整備については、展望台での大型バスの迂回スペースを確保することは容易ではありません。現在の道路に改良を加える場合は森林管理署への手続きと許可が、また、国有林の保安林解除や土地購入手続きも必要であり、さらに道々側は土木現業所との協議も必要であり、整備については諸課題を解決しなければならぬことを理解頂きながら、展望台は景勝地でありリピーターに繋がると思いますが、今後利用状況等を調査しながら施設整備に対するニーズや観光資源としてのあり方、施設利用者、観光協会など関係団体の意見を集約し、積極的に検討したいと考えています。

委員会レポート

5月14日 総務民教常任委員会
5月15日 産業建設常任委員会

◎総務民教常任委員会

1 総合体育館の現況調査

建築後相当の年数を経過していることから、計画的な補修を行うことにより、利用者への安全面に配慮した施設管理に努めて頂きたい。

2 剣道場（翔武館）の現況調査

施設の維持管理状況は良好であり、特記事項なし。

3 カルチャーセンター・りっぷ館の現況調査

観光に寄与する施設であることから、観光協会、観光関連

業者等との連携、協体制を密にして、観光客の立場に立った施設運営に心がけ入館利用者の増加対策を検討すべきである。また、りっぷ館の展示スペースに未利用部分があることから、活用方法等についても検討されたい。



4 利尻島郷土資料館の現況調査

施設の維持管理状況は良好であるが、資料館の運営に関し、展示物の説明録音テープ内容の点検及び開発総合センターに保管中である歴史的資料についての展示について検討して頂きたい。

◎産業建設常任委員会

1 姫沼園地電源供給工事予定地の現況調査

工事の設計・施工に当たっては、電線の地中埋設を基本に係機間との慎重なる協議のもと、自然環境の保全、景観等に十分配慮して頂きたい。

2 北麓野営場改修工事に係る現況調査

観光シーズンに入っていることから、各施設の利用状況を的確に判断の上、利用者の利便性を考慮した改修・整備を行って頂きたい。

3 防災拠点施設建設工事予定地の現況調査

施設の配置計画においては、隣接する土地・建物等に関わる近隣環境及び建築環境に十分配慮されたい。

4 南浜湿原木道改修工事に係る現況調査

改修工事の施工に当たっては、施工時期・施工方法など湿原の保全、湿原の植生環境に十分配慮されたい。

意見書提出(要約)

北海道広域性・自然条件に見合ったへき地級地見直し・運用を求める意見書

「へき地教育振興法」は、教育の機会均等の趣旨に基づき、併せてへき地における教育の特殊事情を考慮して、国及び地方公共団体がへき地における教育振興のために様々な施策を明らかにしたものです。従って、学校の級地指定をするにあたっては、下記の事項が尊重されるように強く要望します。

※第2回定例会において審議の結果、この意見書は原案のとおり可決し、関係行政庁に送付しました。



第2回臨時会

5月29日 出席議員9名

専決処分

▽平成20年度利尻富士町一般会計補正予算(第8号)の承認を求めることについて

〔補正内容〕
補正額5千20万2千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ40億9千473万1千円とする。

▽平成20年度利尻富士町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)の承認を求めることについて

■平成20年度利尻富士町一般会計補正予算(第8号)

主な歳入		(単位:千円)
地方交付税	特別交付税	33,798
道支出金	利尻空港管理費委託金	4,804
財産収入	空港除雪機賃貸料	5,000
寄附金	寄附金	1,600
諸収入	空港運航業務手数料収入	5,000

主な歳出		(単位:千円)
民生費	介護保険事業繰出金	△1,903
	介護サービス特別会計繰出金	△3,237
衛生費	国保施設特別会計繰出金	△1,000
	歯科施設特別会計繰出金	△2,567
土木費	町道除雪委託料	2,505
	空港管理費	4,804
諸支出金	財政調整基金費	51,500
	ふるさと利尻富士応援基金費(新規)	100

■平成20年度各特別会計補正予算

●国民健康保険事業特別会計(補正第3号)

主な歳入歳出		(単位:千円)
歳入	特別調整交付金	3,722
	道調整交付金	11,166
歳出	基金積立金	11,000
	一般被保険者高額療養費	3,811
	国保施設特別会計繰出金	77

●歯科施設特別会計(補正第2号)

主な歳入歳出		(単位:千円)
歳入	国保診療報酬収入	893
	社会保険診療報酬収入	759
	後期高齢診療報酬収入	858
	一部負担金	805
	自由診療	421
	一般会計繰入金	△2,567
歳出	需要費・技工委託料	1,169

〔補正内容〕
補正額1千488万8千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ4億3千598万7千円とする。

▽平成20年度利尻富士町歯科施設特別会計補正予算(第2号)の承認を求めることについて

〔補正内容〕
補正額116万9千円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ3千902万5千円とする。

条例改正

▽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

〔改正内容〕
議員の6月に支給する期末手当を100分の150から100分の135に改正。

▽利尻富士町長等の給与に関する条例の一部改正について

〔改正内容〕
人事院勧告により一般職の期末勤勉手当が100分の140から100分の125、100分の75から100分の70に改正されたため、町長等の期末手当についても100分の215から100分の195に改正。

(平成21年5月29日施行)

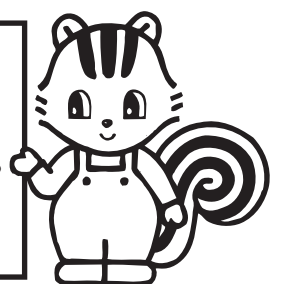
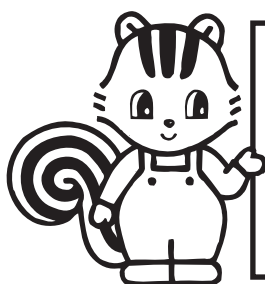
▽職員給与に関する条例の一部改正について

〔改正内容〕
人事院勧告により期末勤勉手当が100分の140から100分の125、100分の75から100分の70に改正。

(平成21年5月29日施行)

議会は公開が原則です

- 定例町議会は、3月・6月・9月・12月の年4回開かれます。
 - 臨時町議会は必要のつど開かれます。
- どうぞお気軽に議会を傍聴しましょう。



議員定数削減!

次の一般選挙から議員定数は10人から9人に、
常任委員会が2委員会から1委員会になります!!

◎利尻富士町議会議員の定数及び報酬等調査特別委員会報告について

利尻富士町議会議員の定数及び報酬等調査特別委員会報告書については、平成21年6月26日開催の第2回利尻富士町議会定例会において、利尻富士町議会議員の定数及び報酬等調査特別委員長から、議員定数を現行の10名から9名に、常任委員会を現行の2委員会から1委員会にそれぞれ減員するとの報告があり、本会議において起立採決の結果、全会一致で委員会報告書は承認・決定されました。なお、議員定数は次回の利尻富士町議会議員選挙（平成21年11月1日投票予定）から適用されます。

〔調査内容〕

1 調査事件

利尻富士町議会議員の定数及び報酬等

2 調査期間

平成21年3月13日から平成21年6月25日まで

3 調査の内容

- (1) 調査の背景について
 - (2) 委員会の開催について
 - (3) 調査等の内容の集約
 - (4) 審議（議論）の内容
- ① 地方分権時代に対応した

議会・委員会のあり方
② 議会と行財政改革の関わり

③ 民意の反映と方策

(5) 議員定数及び報酬の方向性

(6) 調査のまとめ（結論）

◎議員定数等について、町内各自治会長と議員との懇談会が開催されました。

去る8月24日、鴛泊・鬼脇地区自治会長連絡協議会長の連名で要請がありました議員との懇談会について、町内各自治会長並びに議長外全議員が出席し開催され、議員定数等について懇談しました。議会から説明した議員定数及び報酬についての概要は次のとおりです。

委員会審議（議論）の内容

各委員（議員）が住民の意向を把握するために実施した情報収集と調査結果、自治会長連絡協議会が過去に行ったアンケートの結果を真摯に受け止め、審議の過程において十分参考にしました。審議においては、単に定数のみを論ずるのではなく、なぜその定数が妥当なのかを論理的に住民に明らかにすべく、精神的にかつ慎重に議論をかさねるとともに、地方分権、民意

の反映、行財政改革、議会活動の選挙、議員報酬など議員の処遇環境、議員の質の向上、人口構成、少子高齢化、他の町村の状況など様々な論点から議論を深めました。結果として、議員定数についての一定の考え方が示されましたが、「現状を維持すべき」、「減員すべき」と意見は大きく分かれました。

議会としての結論

合議体である議会は、一定の議員数のもと、各界各層から直接選挙により選出された議員同士が大いに議論することにより、地域の課題や民意の確認がなされ、これら多様な意見を調整しながら合意形成に至ることで、より多くの住民が納得できる政策形成、議会運営ができることとなります。

議会の重要な機能は、地域の行政需要を的確に反映して、それを行政施策に反映させること、首長の行政を監視して、これが専横に陥ることのないようチェックすることとされています。議会活動の中で民意を正しく反映させていくには、一定の議員定数を確保する必要がある、さらに、首長と議会の互いの抑制と均衡を保ちつつ、議会内での審議を活性化するためには、現

在の定数を削減することは好ましくない。一方、町の厳しい財政事情から住民負担を求めている中であって、議員自らが身を律し、実効的な行財政改革を住民の理解と協力を得て進めていくために、議会が率先して痛みをこらえ、定数削減を実行する意義も大きいところである。

今後は、現行の2常任委員会を1常任委員会にすることとともに、議員の更なる研鑽による資質の向上、地方分権改革の進展などを総合的に勘案し、定数削減が妥当であるとの判断にたち、次期選挙から現行定数を1名減員し、本町議会における議員定数を9名とすることに決定しました。

また、議員報酬については、議員自らが痛みをこらえる必要性を認識しているところであるが、議員処遇のあり方、労働の対価についてなど多角的に議論を深める必要があることと、町の行財政改革の方針を見極める必要性もあることから、引き続き検討するものとし、現行の報酬を維持することを決定しました。

6月

- 4日 全道町村議会議長会定期総会・北海道離島振興町村議会議長会総会（札幌市、議長・局長出席）
- 8日 一般質問受付（至15日）
- 10日 第4回利尻富士町議会議の定数及び報酬等調査特別委員会
- 13日 議員会主催パークゴルフ大会
- 14日 鬼脇中学校運動会
- 〃 鬼脇保育所・利小・鬼中合同運動会
- 22日 議会運営委員会
- 26日 第2回定例町議会
- 30日 全道町村議会議員研修会（札幌市、議長外各議員、事務局出席）
- 7月
- 6日 岩手県矢巾町議会行政視察
- 7日 埼玉県川口市議会行政視察
- 8日 熊本県天草市議会行政視察
- 10日 漁業後継者報償贈呈式（議長出席）
- 15日 佐賀県議会行政視察
- 24日 全国離島振興市町村議会議長会理事会・臨時

総会（東京都、議長出席）

8月

- 7日 議員協議会
- 22日 利尻島一周ふれあいサイクリング2009交流会（議長出席）
- 29日 利尻島鬼脇会（札幌市、議長出席）
- 31日 広報委員会
- 9月
- 2日 第3回臨時町議会
- 7日 産業建設常任委員会
- 9日 総務民教常任委員会

長岡議長副会長に
就任!!

全国離島振興市町村議会議長会理事会・臨時総会において、北海道離島振興町村議会議長会会長である長岡議長が、満場一致で副会長に就任しました。



議会に請願(陳情)される方に

1. 請願書（陳情書）は下記の様式に準じ邦文で作成して下さい。
2. 請願書には、町議会議員の中から1名以上、紹介議員として署名または記名押印を受けて下さい。
3. 請願・陳情はいつでも受付けております。
4. その他不明な点については、議会事務局にお問い合わせ下さい。（電話 82-2512番）

(表)

(裏)

請 願 書	○○○○○ に関する請願
請願書 (代表) 住所 氏名	請願書の内容
w	平成 年 月 日 利尻富士町議会議長
紹介議員 (署名または記名押印)	○ ○ ○ ○ 殿

(陳情の場合は「請願」を「陳情」に読みかえてください。)

あなたの声を
議会だよりに!

議会・広報委員会ではみなさんのお声をお待ちしております。

■宛先■

〒097-0101
利尻富士町鴛泊字富士野6番地
利尻富士町議会事務局
TEL(0163)82-2512
FAX(0163)82-1253
E-mail
gikai@town.rishirifuji.hokkaido.jp

編集後記

天候不順な夏が過ぎさわやかな秋風が吹くこの頃、世の中では衆議院選挙が行われ歴史的な政権交代が現実の事となった。我が12区においては復活当選もあり、また2人の国会議員を有するところとなった地域としてはありがたい話で、お2人には今まで以上の活躍を期待したい。

それにしても最近は何騒な話題に事欠かない、この国の一大事だといふのにマスコミは芸能人2人が麻薬取締法と覚せい剤取締法で逮捕となるや、テレビ報道は2週間ほどそのニュース一色となり、ワイドショーや新聞メディアによるマニフェスト選挙はどこへやら、国民は視聴率至上主義に振り回されたのではと勘ぐりたくなる。

利尻においても新型インフルエンザの報道が全国ネットで流れるや、宿泊のキャンセルが相次ぎ風評被害が増え、これ以上の感染者が増えないことを願うばかりです。我が町においては、9月の定例会が終われば4年に1度の審判の日を迎えます。2回目となるダブル選挙ですが、町民の皆様には「利尻の将来を」どのように想い行動するか聡明な見識をもって意思表示をしてほしいと思います。

9月は敬老の日であります、皆様のご健康長寿を願いました会える日を楽しみにしています。

議会広報委員会一同